取 扱 説 明 書

屋内用多機能タイマー　**柔道タイマー　ＴＯＰ７０ＸＪ**

重要　**親機**
複数のデジタイマを連動するときは、操作するデジタイマの**親機**キーを押してください。
(P5 <4>-(2)-①)

国際ルール
国内ルール　対応

目　次

◀1▶	安全上のご注意	1	はじめに
◀2▶	使用上のご注意	2	
◀3▶	各部のなまえとはたらき	3	
	(1)停電補償(2)メモリーバックアップ(3)早送りキー(4)ブザー音色・音量切換 (5)コールブザー(6)カウント アップ／ダウン(7)オールリセット		
◀4▶	オプション（別売）	5	
	(1)オプション接続図 (2)連動 ① **親機** 設定		
◀5▶	ご使用前の準備 ●機能の選びかた	5	使いかた
◀6▶	操作方法		
	(F01)柔道国内ルール	7	
	(F02)柔道国際ルール	9	
	(F03)プログラムタイマー	11	
◀7▶	故障かなと思ったら	12	困ったとき
◀8▶	仕　様	12	
	保 証 書	12	

◀1▶安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告　指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項

■分解や改造をしないでください。

発火や、異常動作を起こしケガの原因となります。
修理は販売店にご相談ください。

■水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショート、感電の原因となります。

■電源プラグに着いたほこりはふき取ってください。

火災の原因となります。

■定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

たこ足配線すると、コンセント部が異常加熱して発火の原因となります。

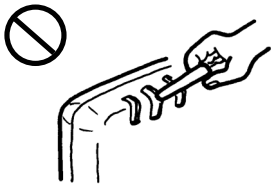
●ご使用前に,この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときお読みください。

molten®

⚠ 注意

指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される事項

■製品の隙間に金属物、異物を入れないでください。

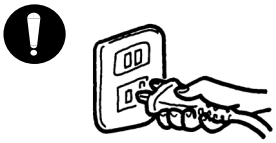


感電や異常動作を起こし、けがの原因となります。

■電源コードやケーブルを傷つけたり、自分で接続補修をしないでください。

火災の原因となります。

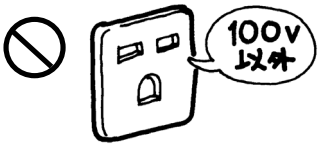
■電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。



感電やショートを起こし、発火の原因となります。

■交流100V以外は使わないでください。

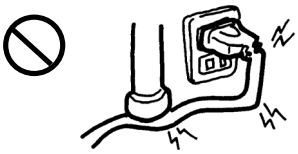
火災の原因となります。



■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わないでください。

感電、ショート、発火の原因となります。

■電源コードやケーブルを無理に曲げたり、踏んだり、引っ張ったりしないでください。



火災、感電の原因となります。

■使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電漏電、火災の原因となります。

◀2▶ 使用上のご注意

操　作

■電源のON／OFFの間隔は5秒以上あけてください。

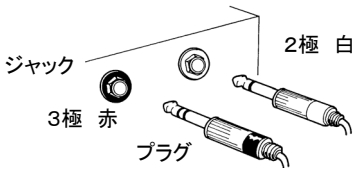
■キーは1つずつ押してください。

2つ以上同時に押すと受け付けません。（スタート／ストップ、リセット、訂正 キーのみ他のキーとの同時押し可能）

■鋭利なものでキーを押さないでください。

■ケーブルのプラグとジャックの色を合わせてください。

モルテン製のプラグ、ジャックは2極が白、3極が赤になっています。



使用・保管・お手入れ

■屋外で使用・保管はしないでください。

本品は屋内使用専用ですので、防水・防塵機能はありません。故障の原因となります。

■直射日光の当たる場所で使用・保管しないでください。

変形の原因となります。

■高温、多湿、結露する恐れのある場所でのご使用・保管はしないでください。

■ぶつけたり、落としたりしないでください。

■ベンジン、シンナー、たわし等は使わないでください。

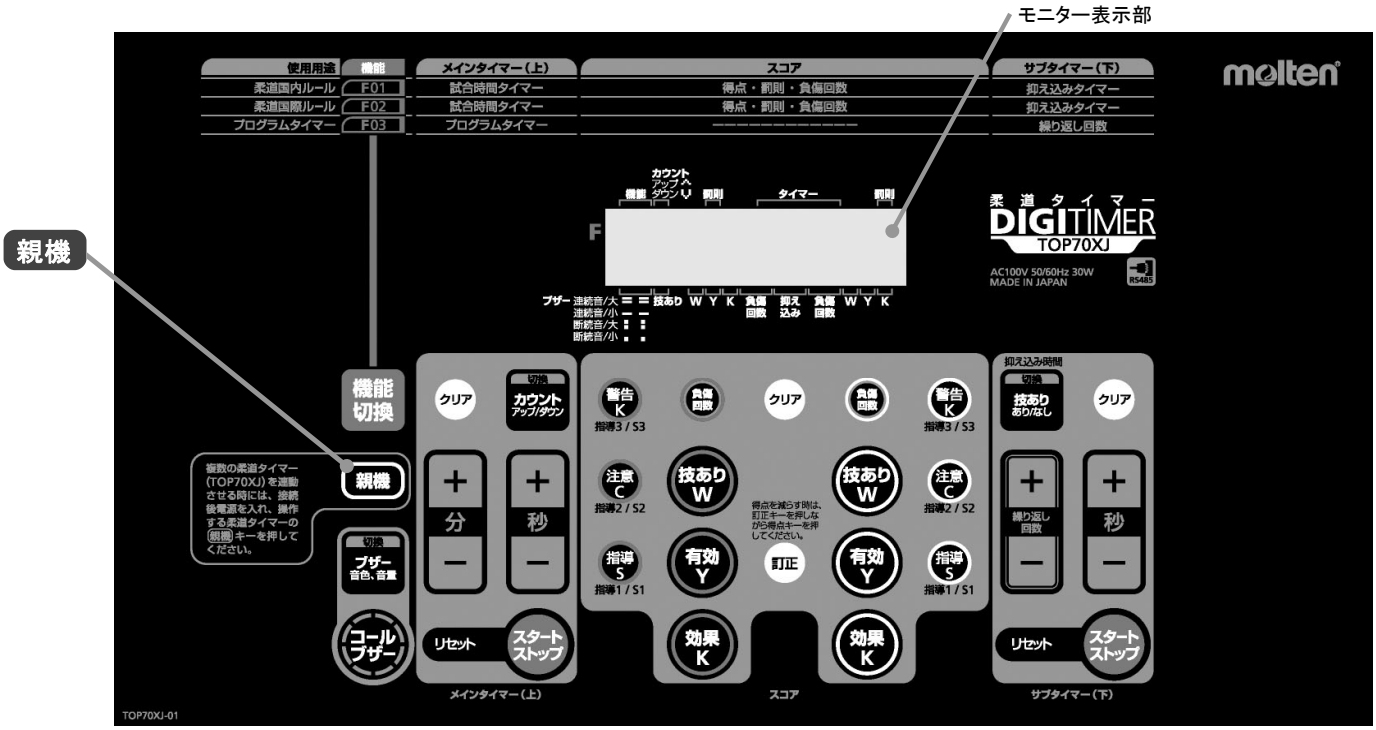
汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

◀3▶ 各部のなまえとはたらき

表示面

操作面

操作パネル



■付属品：電源コード５ｍ　PW05C3　　１本

(1)停電補償

使用中万一電源コードが抜けたり停電になった場合、表示を消灯し、カウントを停止し、電源が切れる前の内容をずっとメモリーします。

(2)メモリーバックアップ

すべての機能について、電源を切る前の表示と設定内容を、ずっとメモリーしていますので、電源を入れるたびに時間などの設定をしなくてもすぐにスタートすることができます。

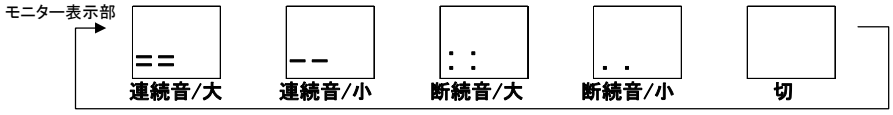
（例） ①タイマー:20分で使用　②電源OFF　③電源ON　④ [リセット] キー

(3)早送りキー

[機能切換] [分] [秒] [回数] [有効] [効果] キーは、１秒以上押し続けると早送りします。

(4)ブザー音色･音量切換

[ブザー音色･音量切換] キーを１回押すごとにタイマー終了時のブザー音を



と切り替えることができます。

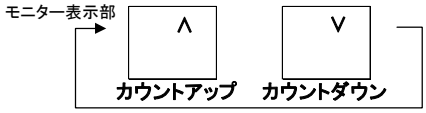
(5)コールブザー

[コールブザー]キーを押すと、押しているあいだブザーが鳴ります。コールブザーの音は、[ブザー音色･音色切換] 設定した音で鳴ります。※”切”の時は連続音/大で鳴ります。

(6)カウント　アップ／ダウン

機能（F03）プログラムタイマーは、カウントのアップ／ダウンが選べます。
タイマー [クリア] キーを押してから、[カウント　アップ／ダウン] キーで選んで下さい。

※[クリア] キーを押すとそれまでの時間設定内容は消去されます。

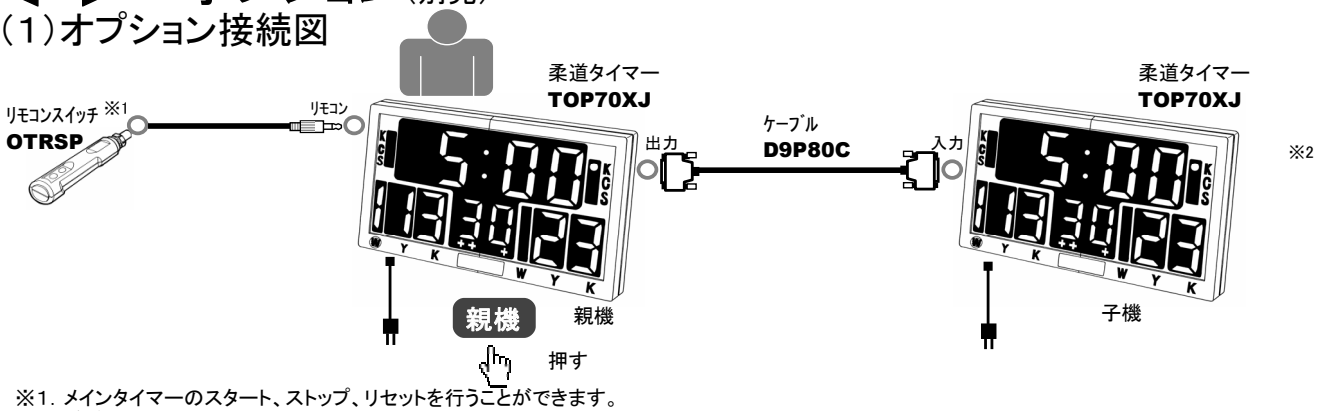


(7)オールリセット

TOP70XJはメモリーバックアップ機能があるため電源を切っても時間などの設定内容はクリアされません。
全ての設定をクリアしたいときや万一動作がおかしくなったときは、メインタイマーの [クリア] キーを5秒以上押し続けてください。時間などの設定がリセットされます。

◀4▶ オプション（別売）

（1）オプション接続図



※1. メインタイマーのスタート、ストップ、リセットを行うことができます。
※2. ブザー音の設定は親機で行ってください。

旧タイプの柔道タイマーとは、そのままでは連動できませんので、信号変換機CAXを別途お買い求めください。

（2）連動

① 親機設定

複数の柔道タイマーを連動するときは、接続後　電源を入れ、操作する柔道タイマーの **親機** キーを押してください。

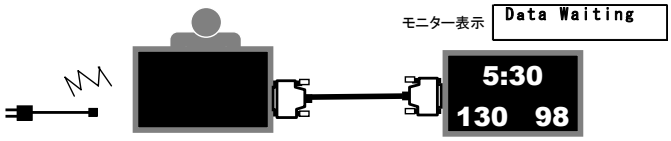
重要

⚠ 通信が開始され、親機以外の柔道タイマーの [親機] キー以外のキーは操作できないようロックされます。
子機の [親機] キーを、うっかり押さないようご注意ください。 子機が、子機になる直前の機能で、親機になってしまいます。

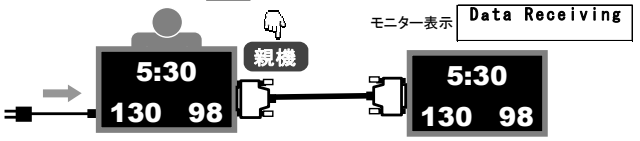
連動中うっかり・・・

■親機の電源コードが抜けた場合

①親機の電源コードが抜けた！

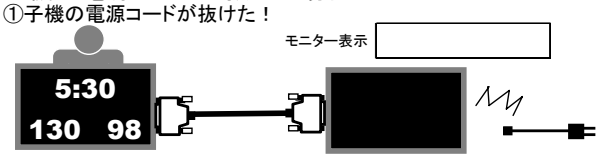


②電源コードを差し [親機] キーを押すと復帰します。

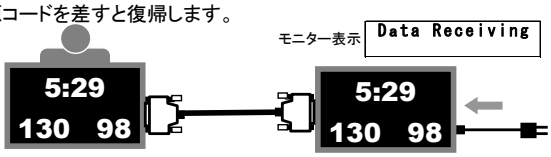


■子機の電源コードが抜けた場合

①子機の電源コードが抜けた！

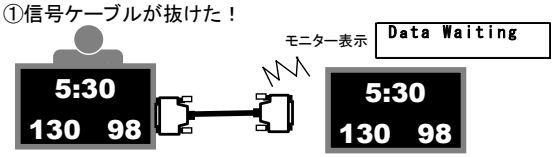


②電源コードを差すと復帰します。

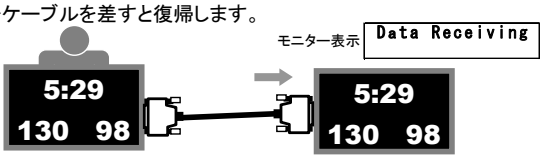


■信号ケーブルが抜けた場合

①信号ケーブルが抜けた！



②信号ケーブルを差すと復帰します。

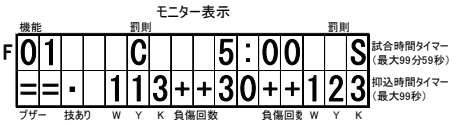


◀5▶ ご使用前の準備

1. 付属の電源コードのメス側を本体側面のコンセントに、オス側を電源コンセント(AC100V、50/60Hz)に差し込んでください。
2. 電源スイッチをONにしてください。
3. 操作パネルの 機能切換 キーをモニター表示の機能番号が希望の番号になるまで押してください。
   (カウント中は 機能切換 キーは受け付けませんので、カウントを停止させてから押してください。)

4. メモリーされている設定時間を呼び出す場合はメインタイマー、サブタイマーそれぞれの リセット キーを、
   設定内容を変更する場合は クリア キーを押して下さい。

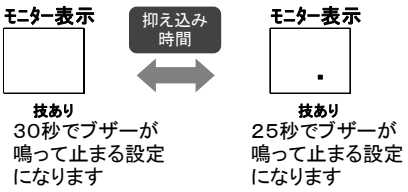
(F01)柔道国内ルール



抑え込み時間に国内ルールの『1本＝30秒』と
『技あり、警告をとられている場合＝25秒』があらかじめセットされています。
抑え込み時間を変更することもできます。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(試合時間)	サブタイマー(抑え込み)	
1. 試合時間に合わせてください(例:5分) (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー)	分＋1 5回		5:00 30 ※1
2. 抑え込み時間の設定を変えたいとき (サブタイマー:秒＋1・秒ー1キー) ①『1本』を20秒に変える場合 (変えなければ30秒)		秒＋1 押し続け リセット	5:00 20 ※1 5:00
②『技あり、警告をとられている場合』を15秒に変える場合 ※2 (サブタイマー:秒＋1・秒ー1キー) (変えなければ25秒) ※以下の説明は変えなかった場合です		秒＋1 押し続け リセット	5:00 15 ※1 5:00
3. 試合開始 設定時間がメモリーされます	スタート ストップ		5:00 4:59 ⋮
4. 抑え込みにはいった ※3		スタート ストップ	1:30 0 1:29 1 ⋮
5. 抑え込み中に"待て"がかかった	スタート ストップ	連動してストップします	1:15 15
6. 試合再開	スタート ストップ	連動してスタートします	1:15 15 1:14 16 ⋮
7. 抑え込みとけた ※4		スタート ストップ	1:10 20 1:09 20 ⋮
8. 次の抑え込みはいった 0からカウントアップを開始します		スタート ストップ	1:05 0 1:04 1 ⋮
9. 30秒経過	連動してストップします	ストップします	⋮ ピー 0:35 30
10. 試合時間経過 ※5			⋮ ピー 0:00 20
11. 試合時間に戻します 抑え込み時間は消灯します	リセット		5:00

※１．設定中はモニターにのみ抑え込み時間が表示されます。
※２．『技あり､警告をとられている場合』時間を変える場合は､必ずその前に『１本』の時間を設定してください。
※３．抑え込まれた選手がすでに『技あり、警告をとられている場合』（２５秒で１本となります）
抑え込みのカウントをスタートさせた後、抑え込みタイマー [技あり] キーを押してください。
『技あり表示』がONになり、２５秒経過するとブザーが鳴ってカウントが止まるように変わります。抑え込みカウント中にもう１度 [技あり] キーを押すと、『技あり表示』がOFFになり、３０秒の設定に戻ります。
抑え込みがとけた（抑え込み [スタート／ストップ] キーを押した）ときは、自動的に『３０秒』の設定に戻ります。



※４．抑え込みのカウント停止中に、抑え込み [リセット] キーを押すと、抑え込み時間表示が消灯します。
※５．抑え込みカウント中に試合時間が０：００になった場合、試合は継続しますので終了ブザーは鳴らず、抑え込みのカウントも継続します。
抑え込みがとけたときは、抑え込み [スタート／ストップ] キーを押してください。ブザーが鳴って試合が終了します。

●時間の訂正がしたいとき　（試合時間タイマー、抑え込みタイマー）
カウント停止中にタイマーの [分＋1] 、[分－1] 、[秒＋1] 、[秒－1] キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にメインタイマーの [クリア] キーを押して、1.の要領で設定しなおしてください。

●抑え込み時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にサブタイマーの [クリア] キーを押して、2.の要領で設定しなおしてください。

●誤って [リセット] キーを押してしまったとき
[リセット] キーを３秒間押し続けてください。リセット前の時間を呼び出すことができます。

■得点，罰則

操作手順	キー操作 得点 ・ 罰則	モニター表示 赤　白
1. 白の選手が効果をとりました	[白・効果 K]	0:00 1
2. 白の選手が指導をうけました	[白・指導 S]	0:00 S 1
3. 赤の選手が有効をとりました	[赤・有効 Y]	0:00 S 1 1
4. 白の選手が注意をうけました 自動的に赤の選手に有効が与えられます	[白・注意 C]	0:00 C 2 1
5. 白の選手が技ありをとりました	[白・技あり W]	0:00 C 2 1 1
6. 白の選手が警告をうけました 自動的に白の選手の注意が取り消され、 赤の選手の有効が技ありに振り替えられます	[白・警告 K]	0:00 K 11 1 1
7. 赤の選手が負傷しました	[赤・負傷回数]	0:00 K 11 + 1 1
8. 得点と罰則をクリアします	[得点・罰則クリア]	0:00

●得点を訂正するとき

操作手順	キー操作 得点 ・ 罰則	モニター表示 赤　白
(例)白の選手の技ありをとり消します	[訂正] 、[白・技あり W] 2つのキーを**同時**に押して下さい	0:00 C 2 1 1 0:00 C 2 1

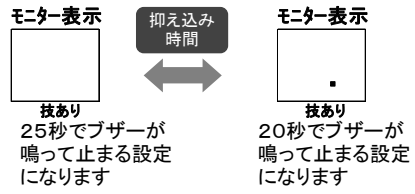
●誤って [得点・罰則クリア] キーを押してしまったとき
[得点・罰則クリア] キーを３秒間押し続けてください。リセット前の時間を呼び出すことができます。

(F02)柔道国際ルール

抑え込み時間に国際ルールの『1本＝25秒』と
『技あり、指導3をとられている場合＝20秒』があらかじめセットされています。
抑え込み時間を変更することもできます。

操作手順	キー操作		モニター表示
	メインタイマー(試合時間)	サブタイマー(抑え込み)	
1. 試合時間に合わせてください(例:5分) (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー)	分＋1 5回		5:00 25 ※1
2. 抑え込み時間の設定を変えたいとき (サブタイマー:秒＋1・秒ー1キー) ①『1本』を15秒に変える場合 (変えなければ25秒)		秒＋1 押し続け リセット	5:00 15 ※1 5:00
②『技あり、指導3をとられている場合』を10秒に変える場合 ※2 (サブタイマー: 秒＋1・秒ー1キー) (変えなければ20秒) ※以下の説明は変えなかった場合です		秒＋1 押し続け リセット	5:00 10 ※1 5:00
3. 試合開始 設定時間がメモリーされます	スタート ストップ		5:00 4:59 ⋮
4. 抑え込みにはいった ※3		スタート ストップ	1:30 0 1:29 1 ⋮
5. 抑え込み中に"待て"がかかった	スタート ストップ	連動してストップします	1:15 15
6. 試合再開	スタート ストップ	連動してスタートします	1:15 15 1:14 16 ⋮
7. 抑え込みとけた ※4		スタート ストップ	1:10 20 1:09 20 ⋮
8. 次の抑え込みはいった 0からカウントアップを開始します		スタート ストップ	1:05 0 1:04 1 ⋮
9. 25秒経過	連動してストップします	ストップします	⋮ ピー 0:35 25
10. 試合時間経過 ※5			⋮ ピー 0:00 20
11. 試合時間に戻します 抑え込み時間は消灯します	リセット		5:00

※１．設定中はモニターにのみ抑え込み時間が表示されます。
※２．『技あり､指導３をとられている場合』時間を変える場合は､必ずその前に『１本』の時間を設定してください。
※３．抑え込まれた選手がすでに『技あり、指導３をとられている場合』（２０秒で１本となります）
抑え込みのカウントをスタートさせた後、抑え込みタイマー [技あり] キーを押してください。
『技あり表示』がONになり、２０秒経過するとブザーが鳴ってカウントが止まるように変わります。抑え込みカウント中にもう１度 [技あり] キーを押すと、『技あり表示』がOFFになり、２５秒の設定に戻ります。
抑え込みがとけた（抑え込み [スタート／ストップ] キーを押した）ときは、自動的に『２５秒』の設定に戻ります。



※４．抑え込みのカウント停止中に、抑え込み [リセット] キーを押すと、抑え込み時間表示が消灯します。
※５．抑え込みカウント中に試合時間が０：００になった場合、試合は継続しますので終了ブザーは鳴らず、抑え込みのカウントも継続します。
抑え込みがとけたときは、抑え込み [スタート／ストップ] キーを押してください。ブザーが鳴って試合が終了します。

●時間の訂正がしたいとき　（試合時間タイマー、抑え込みタイマー）
カウント停止中にタイマーの [分＋1] 、[分－1] 、[秒＋1] 、[秒－1] キーで訂正してください。

●試合時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にメインタイマーの [クリア] キーを押して、1.の要領で設定しなおしてください。

●抑え込み時間の設定を変えたいとき
カウント停止中にサブタイマーの [クリア] キーを押して、2.の要領で設定しなおしてください。

●誤って [リセット] キーを押してしまったとき
[リセット] キーを３秒間押し続けてください。リセット前の時間を呼び出すことができます。

■得点，罰則

操作手順	キー操作 得点 ・ 罰則	モニター表示 赤　白
1. 白の選手が効果をとりました	[白･効果 K]	0:00 1
2. 白の選手が指導1をうけました 自動的に赤の選手に効果が与えられます	[白･指導 S]	0:00 S1 1　1
3. 赤の選手が有効をとりました	[赤･有効 Y]	0:00 S1 11　1
4. 白の選手が指導2をうけました 自動的に白の選手の指導1が取り消され、 赤の選手に有効が与えられます	[白･注意 C]	0:00 S2 2　1
5. 白の選手が技ありをとりました	[白･技あり W]	0:00 S2 2　1 1
6. 白の選手が指導3をうけました 自動的に白の選手の指導2が取り消され、 赤の選手の有効が技ありに振り替えられます	[白･警告 K]	0:00 S3 11　1 1
7. 赤の選手が負傷しました	[赤･負傷回数]	0:00 S3 11 +　1 1
8. 得点と罰則をクリアします	[得点･罰則クリア]	0:00

●得点を訂正するとき

操作手順	キー操作 得点 ・ 罰則	モニター表示 赤　白
(例)白の選手の技ありをとり消します	[訂正] 、[白･技あり W] 2つのキーを**同時**に押して下さい	0:00 S2 2　1 1 0:00 S2 2　1

●誤って [得点･罰則クリア] キーを押してしまったとき
[得点･罰則クリア] キーを３秒間押し続けてください。リセット前の時間を呼び出すことができます。

(F03)プログラムタイマー

最大9種類の時間を連続設定できるタイマーです。

操作手順	キー操作 メインタイマー(プログラム)	キー操作 サブタイマー(繰返回数)	モニター表示
1. プログラム1(P1)を希望の時間に合わせてください (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー) (例:3分)	分＋1 3回		3:00 0 P1
2. プログラム1の時間をメモリーします プログラム番号がP2にかわります	リセット		0:00 0 P2
3. プログラム2(P2)を希望の時間に合わせてください (メインタイマー:分＋1・分ー1・秒＋1・秒ー1キー) (例:1分)	分＋1		1:00 0 P2
4. プログラム2の時間をメモリーします プログラム番号がP3にかわります	リセット		0:00 0 P3
5. ご希望に応じてプログラム3以降を1. ～4. の要領でセットしてください(最大9プログラム)			
6. 繰返回数を設定する場合(しない場合はエンドレス) (回数＋1・回数ー1キー) 希望の回数に合わせてください (例:3回)		回数＋1 3回	0:00 3 P3
7. プログラムセット終了	リセット ※1 *省略可		3:00 1 P1
8. スタート プログラム1のカウントダウンがスタートし、0:00になるとブザーが鳴り、引き続きプログラム2のカウントダウンが行われます プログラムのひとまわりを1回と数え、現在の繰り返し回数が表示部下段左に表示されます	スタート ストップ		ピー 3:00 1 P1 2:59 1 P1 ⋮ ピー 0:00 1 P1 1:00 1 P2 0:59 1 P2 ⋮ ピー 0:00 1 P2 3:00 2 P1 2:59 2 P1 ⋮ 3回繰り返して、ストップ
9. プログラムの最初に戻します	リセット		3:00 1 P1

●時間の訂正がしたいとき

カウント停止中にメインタイマーの 分＋1 、分ー1 、秒＋1 、秒ー1 キーで訂正してください。

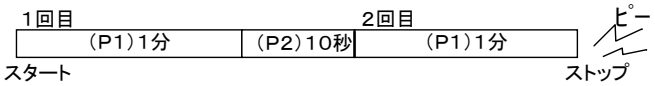
●時間の設定を変えたいとき

カウント停止中にメインタイマーの クリア キーを押して、1.～7.の要領で設定しなおしてください。

●最後の休憩時間をなくしたいとき

８. の前に得点 クリア キーを押してください。

（例） Ｐ１にダッシュ１分を、Ｐ２に休憩１０秒を設定し、繰返回数を２回にした場合



となり２回目のＰ２（休憩１０秒）はカウントされずにストップします。

◀7▶ 故障かなと思ったら　修理を依頼される前に次の点をもう一度ご確認ください。

症　状	ご確認ください（参照ページ）	使用を再開するとき
点灯しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●電源コードが断線していませんか？	●しっかり差し込んでください。 ●交換してください。 電源コードPW05C3
途中で0に戻る でたらめな表示をする	●電源を瞬間的にON/OFFしませんでしたか？(→P2 <2>) ●もとの電源が瞬間的に落ちたり大きなノイズがのると動作がおかしくなることがあります。(→P4 <3>-(7))	●電源を、5秒以上待って入れ直してください。 ●メインタイマー [クリア] キーを5秒以上押し続けてオールリセットを行ってください。
キーを受けない	●2つ以上のキーを同時に押していませんか？(→P2 <2>) ●子機として使用していませんでしたか？(→P5 <4>-(2)-①)	●キーは1つずつ押してください。 ●[親機]キーを押してください。
子機が親機と同じ表示をしない	●[親機]キーを押しましたか？(→P5 <4>-(2)-①) ●通信ケーブルが抜けていませんか？(→P5 <4>-(1))	●操作するTOP70XJの [親機] キーを押してください。 ●通信ケーブルを接続してください。

●上記以外の異常がある場合は、使用を中止し電源プラグを抜いてから、販売店に点検・修理をご相談ください。

■長年ご使用のさいの点検を

このような 症状はありま せんか？	●電源コード、プラグが非常に熱い ●煙が出たり、焦げ臭い臭いがする ●本体の一部に割れ、ゆるみ、がたつきがある。 ●本体に触ると、ピリピリ電気を感じる。 ●その他、異常・故障がある。	⇨	ご使用 中止	このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に、点検・修理をご相談ください。

◀8▶ 仕　様

■サイズ・重量　：　幅61×奥行20×高さ36cm、4.5kg
数字高さ　　上段：赤13cm、下段：黄、赤12cm
罰則：黄　直径2.5cm、負傷回数：緑　高さ1.8cm

■電　源　：　AC100V　50/60Hz、最大消費電力　30W

●製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後７年です。
●品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

MADE IN JAPAN

保証書

本書は下記の保証規定の内容により無料で修理および調整を行うことをお約束するものです

品　　名：柔道タイマー
品　　番：ＴＯＰ７０ＸＪ
保 証 期 間：お買い上げ日より６ケ月
お買い上げ日：　　年　　月　　日

株式会社 モルテン
東京本社　東京都墨田区横川５丁目５－７
大阪・名古屋・福岡・広島・四国・仙台・札幌

■お客様

おところ TEL(　　)　　－
お名前 様
販売店名

保証規定

■保証期間中にお客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
■保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
①保証書のご提示がない場合　②保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合　③使用者側での輸送・移動時の落下等お取扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合　④説明書に記載の使用方法および注意に反するお取扱い、または不良な修理や改造による故障・損傷　⑤火災・天災および異常電圧等外部に要因がある場合
■この保証書は国内で使用される場合だけ有効です。This warranty shall be valid only in Japan.